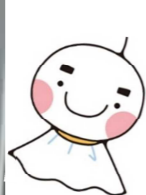
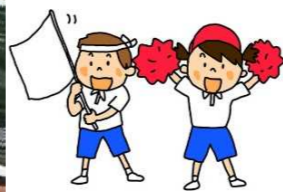


祝120周年 大運動会



町小魂 見せてやる

ぼくは応援団長という大事な役は、ふつうにできるかなあと考えていました。そうしたら、現実には理想と全くちがってとても苦労しました。まず一つ目は動きなどを考える。二つ目はみんなをまとめる。この二つのことにとても苦労しました。ぼくは応援団長をやって、責任の重さということを感じ学びました。運動会では得点の差はけっこうあったけど自分ができることをすべて出し、負けたけど、悔いは残りませんでした。そして応援団長という経験をつんでとても良かったと思います。

赤組応援団長 渡辺結翔



5月27日(土)。
今にも降りだしそうな空の下、
町小大運動会が開かれました。

今年は創立120周年の記念大会だけあって、子どもたちや先生方もかなり気合が入っていたのですが……。午前中の部の途中から無情にも大粒の雨。降り止むまで一時中断となってしまいました。それでも子どもたちの願いが天に届いたのか、昼食後には雨も止み、無事終わることができました。

泥だらけになりながら頑張る子どもたちの笑顔が、とても印象に残った今年度の運動会でした。

ぼくは、今年の運動会はよい運動会になったと思います。その理由は、エール交かんの時ひとりひとりが全力で声を出し、気合が入っているのがよく伝わったからです。その後には得点が発表された時は、赤が勝っていました。ぼくは少しあきらめかけていました。でもみんなと今までがんばってきたので、あきらめずに戦いました。そのほかの競技も全力で戦い、全力で応援しました。結果は白が勝ちました。ぼくはみんな協力したから勝てたと思っています。5年生には、ぼくたちがしたことを未来へつなげてほしいです。

白組応援団長 榎本瑛斗



窓には、たくさんの
あつめる坊主



先生方が着ていた
120周年記念ポロシャツ

